

不正防止の虎の巻

第16回

中野耕平
kouhei nakano

株式会社A・P総研
代表取締役

さてさて初体験の刑務所視察を終えた我々は、 ニューヨーク市警へと向かった！

アメリカセキュリティ視察ツアー第四弾！！

殺人と麻薬と売春婦の溢れた街NYCがどのように変貌して行ったのかその核心に触れて行く。「斬、耕平が斬る」

ニューヨーク市警・

ニューヨーク市警の事をアルファベットでNYPD(ニューヨーク、ポリス、デパートメント)と呼ぶ。

今から25年前の1989年、NYCではどれだけの殺人事件が起きたのかご存知か？

なんと「2137件」である。一日に換算すると、約6人が毎日殺されていた事になる。あなたはあなたが住む街で、毎日6人が殺されているなんて想像出来ますか？

東京で2012年に起きた殺人事件は118件。全国では1030件だった。東京の約20倍、全国の殺人事件二分が、一つの街で起きている。では、その街がどうやって変貌する事が出来たのか？

勿論今回同行して頂いている小田氏が所属しているGA



NYU前。

た。しかも当時18歳だったスタッフが路地裏で暴漢にナイフで襲われる等のギャングからの妨害が多発した。幸いにも彼は頭を刺されたが一命を取り留めた。だが、その後立て続けに四人が殺されてしまった。皆10〜20代の若者だった。その内の一人の葬式を、NYU(ニューヨーク大学)の向かいの公園内のチャペルで行った。



NYUの前のWASHINGTON SQUAER PARK

そんな事も有り、周りからの軋轢も相当なものだった。それでも地下鉄の警備を続け、約二年かかって市民からの信頼を得る事が出来た。しかし市長は反対だった。余談だが、私は映画のニュースで彼達の活動を知っていた。私が20代の頃だったか。

(ガーディアン、エンジェルズ)

の功績も大である。NYPDでのミーティングの模様をお知らせする前に、GYについて解説する事が、よりNYCと言う街がどのような街だったか鮮明に出来るので、まずはGAについて説明しよう。

カーティス・スリワ・

GA創始者カーティス・スリワ氏に話を聞いた。場所は彼がパーソナリティをしている「77WABC」だ。

ここはマジソンスクエアガーデンの隣に位置している。現在は通りに面した一階で窓越しに見る事が出来る。



カーティスは14歳の時、火事場から人を救出し、当時のラジオ局でパーソナリティを務めているカーティス。

その偶然に感動している。

当時のNY・

今でも世界一の繁華街「タイムズスクエア」だが、当時はクラック(安ドラッグ)の売人と売春婦で溢れていた。その為、周りのレストランはジャンキーの集まりと化していた。

実は60年代のNYCはとても安全な街だった。しかしベトナム戦争が人の心も街も変えてしまったのだ。

あまりの治安の悪さに続々と閉店し始めた。結局GAに相談し、パトロールが始まった。しかし市長のコッチは反対をした。

それでもオーナー達は、GAがパトロールしてくれないと店が開けられないと強く要望した事で、パトロールがさらに強化された。

GAは自警団ではない・

自警団とは相手を傷つけてでも自分を守ろうとする集団の事である。だからGAでは拳銃や警棒等を持つ事が無い。結局そのようなモノを持つていれば、相手はそれ以上のモノを使うとして来る。

その代わり身を守る為の自衛訓練は徹底して行っている。

コッチ市長の退任・

悪政を敷いて来たコッチ市長が退任し、黒人市長ディンキンスになってGAは認められる様になった。

さらに92年にジュリアーニ市長に代わった事で、ついにオフィシャルサポートを市から受けられる様になった。

これがターニングポイントとなり、最悪の街から最良の街へと変貌して行く。

72回の逮捕歴・

この話を聞いた当時(99年)でのカーティスの逮捕歴だ。恐らく増えていないであろう。何故ならこの逮捕は、マフィアからの嫌がらせが殆どであり、その他は警察がウザい(何かの利権絡み)と思っ

ての逮捕だったからだ。さらに92年にはマフィアの刺客によって、拳銃を5発も打ち込まれている。奇跡的に一命を取り留めたカーティスだが、約一年間は腹に袋を付けたままの生活を余儀なくされた。

その時、腹に袋をぶら下げ

たまま、ホットドッグの大きい競走に出たと言うのだから驚きを通り越してしまふ。

ラジオ討論会・

頻繁にラジオの討論会に出演しGAの必要性を語ったが、とにかく弁の立つ彼は次第に人気が出る様になり、「77WABC」のパーソナリティを務める様になったのだ。

ちなみにGAはボランティア団体なので給料は支払われない。全員他に仕事を持った上で協力だ。

カーティスにとって貴重な収入源でもある。この番組は生討論会のようなものらしい。中々の人気者で立派な体格で赤いベレー帽にジャンパーで歩いていると、あちこちから声がかげられる。

ニューヨーク本部にて・

GAのスタッフは全てあだ



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつつ、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



ハリウッドの背中に羽が生えてる様に見えるが、ガーチ案のシンボルマークが偶然重なっただけである。

名で呼ばれている。当時のNYリーダーは「ハリウッド」と呼ばれていた。何故LAの名前が聞き忘れたが、多分出身が西海岸なのだろう。

活動当初の苦労・

しかし、市民からは新車のギャングにしか思われなかつ

ニクソン大統領から、直接表彰状と握手をもらった。その時の新聞が、今でもニューヨーク本部に掛けられている。その後もマクドナルドの店長時代、76年9月から従業員達とNYCの街角でゴミ拾いを始めた。これがGAの前身「ロック・ブリゲード」だ。その頃の地下鉄には専用の「メトロ・ポリス」がいた。しかし、コッチ市長が「夜7時以降は地下鉄にポリスを配置しない」との愚作をとってしまった。喜んだのは犯罪者だけで、市民よりポリスの安全を優先したわけだ。その為カーティスは、地下鉄の警備をする事にした。正式にGAが誕生したのは1979年2月13日13時、サウスブロンクスで13人の仲間達と始めたのだ。その為、「ブロンクス13」とも呼ばれた。今では世界14カ国140都市に、日本だけで25支部と拠点を拡げている。

ちなみに小田さんは「デューク」私は「○○」である。恥づかしいから、言わないよ。さて素晴らしい活動を続けているGAの紹介はここまでとしよう。来週はNYPDを斬らして、頂こう。

記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971

